



2018年8月24日

各位

会社名 株式会社ブランジスタ  
代表者名 代表取締役社長 岩本 恵了  
(コード番号：6176 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部長 石原 卓  
(TEL：03-6415-1183)

### 通期連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2017年11月14日に公表いたしました2018年9月期（2017年10月1日～2018年9月30日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、2018年9月期第4四半期において特別損失の計上を行う見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 2018年9月期通期連結業績予想値の修正（2017年10月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,300	百万円 0	百万円 0	百万円 △200	円 銭 △13.86
今回修正予想（B）	3,300	△230	△230	△540	△37.36
増減額（B－A）	－	△230	△230	△340	
増減率（％）	－	－	－	－	
（ご参考）前期連結実績 （2017年9月期）	3,160	301	302	188	13.21

##### (2) 修正の理由

当社連結子会社である(株)ブランジスタゲームは、2018年9月期第3四半期連結累計期間に、3Dクレーンゲーム「神の手」のさらなる認知度の向上を目的として、テレビCMの全国放送をはじめとするプロモーションを積極的に実施し、費用が先行したものの、その結果180万ダウンロードを突破いたしました。

その成果をふまえ、当社グループでは、第4四半期連結会計期間に、投資回収を目的として、国内

においては、「神の手」配信開始2周年を記念し、アイドルがカラオケに来て歌ってくれる権利や、芸能人と食事を共にできる権利などが獲得できる特別企画を毎週実施することを予定しておりました。また、海外事業展開として2018年7月下旬から台湾では、大人気アイドルグループとのコラボレーション企画の実施や、タイにおいても同時期から大人気アイドルグループとのコラボレーション企画、日本で人気のアニメコンテンツの現地展開、現地大手広告代理店と提携した大手メーカーとの神の手広告モデル企画などを続々と実施する予定でした。

しかしながら、2018年7月17日付「3Dスマホクレーンゲーム「神の手」App Storeにおける新規ユーザーの受付、及びアップデートの一時停止の可能性」及び2018年8月6日付「2018年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にてお知らせしましたとおり、米Apple社に対して「神の手」のアップデートを申請しているさなかの2018年7月14日に、米Apple社より、当該アップデート内容について『3Dスマホクレーンゲーム「神の手」のバーチャルとリアルを融合させたサービスモデルが、審査ガイドラインの3.1.1、3.1.5、及び5.2.3に適合せず、改善が必要である。』との要請を受けました。

これを受け、当社グループといたしましては、米Apple社の主張は、審査ガイドラインに照らし、合理性を欠くものと考え、米Apple社と協議を行いました。が、審査ガイドライン適合に関する合意に至らず、2018年7月21日に、米Apple社により、「神の手」のApp Storeにおける新規ユーザーの受付及びアップデートが一時停止されました。

そのため、不本意ではありますが、当社グループでは第4四半期連結会計期間において当初想定していた特別企画が実施出来ない状況となりました。

その後も当社グループでは米Apple社に対し、「神の手」のApp Storeにおける新規ユーザーの受付及びアップデートの一時停止措置解除の検討を要請しておりますが、現在も審査ガイドライン適合に関する合意に至らず、協議が長期化しております。

したがって、第4四半期連結会計期間において、当初予定しておりました特別企画の実施や海外展開による新規ユーザー獲得を通じた投資回収及び収益化が見込めないことから、連結の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回る見込みであります。

一方、売上高につきましては、既存事業である「電子雑誌」「ソリューション」が引き続き堅調に推移していることから、前回発表予想を据え置いております。

なお、このような状況のもと、現在もApp Storeにおける新規ユーザーの受付及びアップデートが一時停止となっている「神の手」につきましては、引き続き米Apple社と交渉をすすめておりますが、同社との交渉が終わった段階もしくは、当社グループにおいて今後の方針を決定した段階で、その旨について業績に与える影響とともに速やかに公表いたします。

## 2. 特別損失の計上について

### (1) 連結子会社における特別損失（連結）

前述のとおり、当社連結子会社(株)ブランジスタゲームにおいて、事業環境の変化に伴い収益性の低下リスクが高まったことを受け、特別損失約130百万円を計上する見込みであります。

### (2) 個別決算における特別損失

上記に伴い、当社の個別決算において、特別損失約1,600百万円を計上する見込みです。なお、連結決算上消去されるため、連結業績において今回の修正予想に与える影響はありません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上